

○議長（高橋正博君）

6番 岡本経治君。

○6番（岡本経治君）

6番岡本経治です。2点、質問させていただきます。

新庁舎に関する工事費についてですが、7月に新庁舎が開庁したが、当初の概算金額26億8千万円より1億円の大幅な増額となった。町民からも高いという声を聞く。この26億8千万という金額は、当初見積もりの段階では25億以内で収めるということで、当時の総務課長が頑張っていたかまして、大幅1億ほどダウンしとったという記憶があるんですけども、そこからまた増額になって、新庁舎棟の総額、プラスオンされましたけども、車庫棟、駐車場線引き、もろもろの。いったいどうしてこのような金額に跳ね上がったのかということをお聞きしたいなと思ひまして、よろしくお願ひします。

○議長（高橋正博君）

総務課長 笹山恵子君。

○総務課長（笹山恵子君）

岡本議員のご質問にお答えいたします。

令和元年9月12日の総務建設常任委員会におきまして、庁舎棟建設工事につきましては、庁舎、渡り廊下、屋外階段工事を工区①として実施設計の積算24億1989万円とご報告させていただきましたが、最終は22億5922万4千円でございます。その他工区である浄化槽改修工事、庁舎棟建設、診療所棟改修工事、外構工事の最終金額は4億9327万6千円であり、総額は27億5250万円でございます。

新庁舎の建設にあたりましては、議会においても、庁舎問題調査特別委員会、また総務建設常任委員会で大変熱心にご議論いただきました。議員の皆さまのご意見を頂戴しながら、コスト面を重視し、工事の必要性を十分に精査し、進めてまいりました。

引き続き、住民サービスの向上が図れるよう、また、町民の皆さまが立ち寄りやすい庁舎となるよう努めてまいりますので、議員の皆さまのご支援をお願いいたします。以上でございます。

○議長（高橋正博君）

6番 岡本経治君。

○6番（岡本経治君）

先ほどの説明ですけれども、当初は庁舎工事22億5千万。町民は、庁舎工事だいたい25億ぐらいは致し方ないなという感覚をもっていたかと思ひます。それが何で、総額、蓋開けたら27億以上。当然執行部、その道のプロの集団であります。そのプロの集団が、だいたい概算予算でその金額決めて、何

でこんだだけ跳ね上がるのか。

町長も民間企業のトップ経験者の方なので、分かっておられると思いますが、家を建てるときに、例えば家 4000 万円で建てますいうたら、ほとんど外構工事を含んでおります。それ以上追加予算なんか言われたら、手も足も出なくなります。通常、当たり前であれば。何でこのように跳ね上がって、まして、その追加で 100 億以上の予算を組んで、町長、本当にこのようなやり方で、財政管理していけると思われますか。町長にお聞きしたいんですけれど。どうですか町長。

○議長（高橋正博君）

三枝町長。

○町長（三枝邦彦君）

それでは、岡本議員の質問にお答えしますが、原因はよく分かりませんが、たまたまオリンピックがあったということで、大林さんが入札で落としました。そのときから、人件費であったりだとか材料費が高くなるかなという話は聞いておりました。そういうところで高くなったのかなと思いますけども、基本的にはですね、設計、それから管理等々していただいている設計会社さんともですね、話をしながら進めておりましたから、上がったのは、致し方ないのかなとは思っております。

○議長（高橋正博君）

6 番 岡本経治君。

○6 番（岡本経治君）

これ、オリンピックがあることは 5 年も 6 年も前から決まって、庁舎建設のことも、その当初から携わってきて、当然上がるのは、可能性があるということは誰しもが思うことです。やっぱり先々の用心というか、先手先手を打って執行部のほうもやっていったと思うんです。だからそのときに、その概算予算が出たわけです。請け負う会社も当然、庁舎建設ですからやるのは間違いないと踏んでるわけです。そのすり合わせを、町長がトップとして交渉に立ちましたか。どうですか、ちょっと聞きたいんですけれど。

○議長（高橋正博君）

三枝町長。

○町長（三枝邦彦君）

再質問にお答えします。直接そういう交渉は入っておりません。当然、担当の職員がおりますので、そちらのほうでお話は進めていきました。

○議長（高橋正博君）

6 番 岡本経治君。

○6 番（岡本経治君）

普通は、部下が決めたことを確認して早急に町長が自ら出て行って、この金額でできるのか、できないのかという確認ぐらい取っていただかないと、血税を投入してこの新庁舎できたものです。しっかりと運営できるように自己管理もしていただきたいと思いますね。

次の質問にいきます。旧庁舎のいすや机などの備品の処分についての今後の方針は。住民等を対象に販売し、自主財源の確保につなげるというお考えがあるのか、ないのかちょっとお聞きしたいです。

○議長（高橋正博君）

出納室課長 宮原正行君。

○出納室課長（宮原正行君）

岡本議員の備品処分についてのご質問にお答えさせていただきます。

旧庁舎で使用していたいすや机などの備品については、基本的には経年劣化により使用に耐えないものは廃棄処分としますが、再利用できるものは極力利用するという考えのもと、十分使用に耐えるものは現在の新庁舎や他の公共施設にも活用しております。ただし、旧庁舎で使用していた、いすや机などで、新庁舎における限られた事務スペースの効率的な利用や動線確保を考えたときに再利用が難しい場合もあり、現在も備品の一部を保管している状況でございます。

今後の町の方針といたしましては、引き続き適切な備品管理を行いつつ、再利用できるものは極力利用するという考えのもと、旧庁舎に置いている備品につきましては、ある程度新庁舎での運用が落ち着いたあとに、まずは希望のある出先機関等へ移動、譲渡を検討していく予定にしております。

また、岡本議員のご提案につきましても、備品の有効活用、新たな財源確保という観点から見ても、有効な方法の一つとして考えていきたいと思っております。

○議長（高橋正博君）

6番 岡本経治君。

○6番（岡本経治君）

当然、皆さんの税金で購入した物ばかりなので、有効活用するのは当然のことです。民間に売却して自主財源の確保ということ、私ちょっとお聞きしたんで、ただで自主財源の確保にはなりませんよね。民間のほうでも、欲しがっている人はたくさんおられます。机にしても壊れとる物を修繕したりとか、また同じ物であれば片方が壊れとったら使えるものを、また部品交換したりとかしながら知恵を使って、皆さん素晴らしい、本当に使える状態にするっていう技術を持つてる方も町民の方たくさんおられます。だけど、さらを買えば高いんです。だから、自主財源の確保のために民間に売却するという事は可能なのか、可能でないのかちょっとお聞きしたいですね。

○議長（高橋正博君）

出納室課長 宮原正行君。

○出納室課長（宮原正行君）

そのあたりも含めまして、今後検討していく予定でございます。

○議長（高橋正博君）

6番 岡本経治君。

○6番（岡本経治君）

検討されても駄目でしたじゃ駄目なんで、自主財源確保のために少しでも土庄町にお金が残るような方向性を考えて手を打っていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

2番目、町の新型コロナウイルス感染防止対策についてですが、町は新型コロナウイルスの感染拡大防止について、住民にさまざまな注意喚起や協力をお願いしております。

コロナ対策を迅速かつ適切に講じていくためにも、危機管理を担う町役場の感染対策は重要であります。庁舎施設、来庁する住民、職員の感染対策にどのように取り組んでおられるのか。

また、町長はどのような意識を持って活動されておられるのかお聞きしたいです。

○議長（高橋正博君）

ここでちょっとすみません。執行部の方にお願ひがあるんですが、最初の答弁、1回目の答弁のときは演壇のほうでお願いします。

○議長（高橋正博君）

総務課長 笹山恵子君。

○総務課長（笹山恵子君）

岡本議員のご質問にお答えいたします。

岡本議員もおっしゃるとおり、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止につきましては、昨年の2月以来、土庄町新型コロナウイルス感染症対策本部から、住民の皆さんにさまざまなご協力をお願いしてまいりました。先月からの第5波と言われる感染者の急増に対しても、皆さんのご協力のおかげで今月に入り感染拡大に足止めがかかったことはご存じのとおりでございます。

また、議員がおっしゃるとおり多くの住民の方が利用し、本町における感染症対策を含めた行政運営の中核を担っている本庁舎の感染防止対策は特に重要と認識しています。

庁舎施設におきましては24時間換気システムの稼働、空気清浄機の設置や、朝、昼のカウンター等の消毒、会議ごとの会議室の消毒の実施など基本的な対策はもちろん、今後は、庁舎トイレの便座除菌クリーナーの設置や庁舎内の光

触媒による抗菌・抗ウイルスコーティング処理、庁舎カウンター等への飛沫感染防止パネルの設置を計画しております。

来庁する住民の皆さんに対しては、マスクの着用、庁舎の表と裏の玄関に設置しております検温器による検温、手指消毒の徹底などのご協力をいただいております。

また、職員に対しては人の移動による感染のリスクを減らすため、現在、公務の出張等を全面的に自粛しており、職員にはウェブ会議や電話、電子メールなどで対応するよう呼び掛けております。公務中のみならず、私生活の場においても、不要不急の外出や移動を自粛するよう、全職員に協力を依頼しているところです。

さらに、職場における感染防止対策のため、接触感染や飛沫感染の防止、職員自身の健康管理の徹底など、平常時から感染防止対策に努めるよう文書を通じて全職員に周知し、職員の感染が判明した場合や濃厚接触者等となった場合に迅速な対応がとれるように、感染等が判明したのちの流れや各課の役割分担を明確に示した「土庄町新型コロナウイルス感染症に係る対応マニュアル」を作成し、全職員に配布しております。

変異株が猛威を振るう中、誰がかかってもおかしくない状況となりつつある現在、庁舎での対策はもとより、職員も高い意識をもって、より一層の感染拡大防止対策が必要と考えております。

議員の皆さまにおかれましても、引き続き感染拡大防止にご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

○議長（高橋正博君）

6番 岡本経治君。

○6番（岡本経治君）

町執行部の対応、庁舎に来られる町民さんに対する対応、ほんとに素晴らしいもんですよと思います。そういうふうに危機管理をもってやっていただいたら、町民の皆さまも、また島外から来られる皆さまも安心して、こうやって小豆島に足を運んでいただける、庁舎に足を運んでいただけると思います。

ただ、過日にこの数日、町長が自ら注意喚起、防災無線で促しております。

マスクも街頭で職員と配布したと聞き及んでおります。しかし、土庄町民に、すべてにマスクの配布ができたのか、どうなのか。街頭でマスクを配る必要性があったのか、誰の指示でそのような行動に移したのか。まだまだこのコロナ禍の緊迫、逼迫した時代に町の仕事をほったらかして外に出て行って、そのようなことを誰が何のためにしたのか、お聞きしたいです。

○議長（高橋正博君）

健康福祉課長 奥村忠君。

○健康福祉課長（奥村忠君）

岡本議員のご質問にお答えいたします。

マスクの配布ですけれども、9月1日にマルヨシ前とマルナカ前におきましてマスクの配布を行っております。

理由といたしましては、議員もご承知のとおり、8月中に小豆郡内、また土庄町内におきましてたくさんの方の新規感染者の方が確認されております。また、香川県内におきましても、大変厳しい状況が続いており、香川県におきましては広報車を土日に走らせるということを実施されておきまして、市町につきましても啓発活動を実施するようという要請がございましたので、そういうような街頭啓発ということも実施をいたしました。以上です。

○議長（高橋正博君）

6番 岡本経治君。

○6番（岡本経治君）

街頭啓発をしろということがあったからした。土庄町民にどんだけ配られたのか人数の掌握は、たぶん分からないでしょうから聞きません。だけど、大事なことです、啓発活動は。来庁される方にお配りするようなこと現在しとるのか、してないかといえぱしてませんよね。来庁される方は、ほとんどが土庄町民の方が大多数を占めております。その方々に使ってください、お持ち帰りくださいって声をかけたほうが確実じゃないですか。何でそのようなことが考えられない、実行できない。行動がすべてであるんです。その行動が的を得た行動なら、本当に町の職員頑張ってるんやな、町長しっかり音頭取ってるんやなという声も上がってくると思うんです。それが、真逆の声が上がってきているんです。

町長にお聞きしたいんですけれども、町長一生懸命、啓発活動のために、朝夕「何かあったら皆さんお気を付けてください」って投げ掛けていただけてますけど、町長自身がよく数名で外食をするということを、ここ1年半ぐらい、コロナが始まってからよくお聞きします。これは事実ですか、事実じゃないんですか。ちょっと町長お聞きしたいです。

○議長（高橋正博君）

すみません、これはちょっと個人的なことなので。

○6番（岡本経治君）

町長は町の代表として啓発活動に臨んで「不要不急の外出は控えてください」ということを言われています。町民は、町長のその言葉を聞いて、家族でも外食を控え、外出もちょっと旅行行きたいのも控え、そのような行動を日々送られているんです。個人的なことじゃないんです。そのことを、町民が声を上げているんです。その代表として僕は聞いてるんですから、その辺は、議長勘違

いしないでください。町長お聞きしたいです。

○議長（高橋正博君）

三枝町長。

○町長（三枝邦彦君）

これ個人の行動だと思いますけども、先ほど奥村課長言ったように 8 月に爆発的に増えました。それまではですね、今年については、今年度入って、5 月に 2 人、その後、8 月です。この間、飲食店非常に厳しいという話も聞いてます。ただ、何回か行っておりますけども、それはやはり飲食店への支援というものもありますけども、どちらかというとなんかでですね、だいたいコロナ対策で延長線上のいろいろな会議があったりだとか、その後、行ったというのは事実です。

○議長（高橋正博君）

6 番 岡本経治君。

○6 番（岡本経治君）

先ほどの町長、飲食店への応援のために。分かります。心情は分かります。やっぱり飲食店の方も大変です。助成金、国からの助成金も金額の大小はありますけども、そうやって応援するようなかたちを取っておりますけれども、不要不急の外出を控えてくださいっていう町長自ら、そうやって出歩いて、打ち合わせを兼ねてとか、これ国会でもすごい問題なってることなんです。いかに国、県の人と連携が取れてないのか、意識改革の問題もありますでしょうけど、これ町長、そのような外食とか複数人と行かれて、申し訳ないなという気持ちはありますか。やってしまったことは仕方ないっていうんじゃないで、するべきではなかったなとか申し訳ないなというようなお気持ちは町長の中でありませうか。どうですか町長。

○議長（高橋正博君）

三枝町長。

○町長（三枝邦彦君）

個人的な話なので、ここではあまり話しすべきでないかなと思いますが、雇用、経済をまわすということについてはですね、そういう観点ではどうなのかなとは思いますが、ただ、特に先ほども言いましたように 8 月 10 日以降ですね、8 月 29 日まで、この間で 24 名と、ほんと大変な状況だったので、それ以前についてはですね、そこまではたぶん町民の皆さんも、まん延防止にも香川県もなっていない時期だったので、そのあたりはどうなのかなと思います。

○議長（高橋正博君）

6 番 岡本経治君。

○6 番（岡本経治君）

このコロナが始まって1年半、2年弱続いているわけですね。まん延防止が始まってなかったからとか、始まっているとかって言う次元の問題じゃないと思います。いつまで続くかということで、町民みんな不安に思っております。8月とか、その以前も出てます。去年も。一人ひとりが町民気付けて頑張っております。町長自らその啓発活動に乗り出して、町長自ら外食するっていう。僕が聞いたのは、始まってから複数人と外食して、このことに対していろんな理由があるでしょうけど、食事しながら話せなアカンというのは、ときには大事やと思います。だけど、そのようなことが町長自らあったことに対して、申し訳ないなど思っているか、思っていないかっていうことを聞いてるんです。個人的であろうが、何であろうが、町長は土庄町のトップなんです。言い訳を聞いているわけではないんです。あったのが事実なら、そのことに対して申し訳なかったのか、何にも思っていないのか、そのことを聞きたいんです。町長どうですか。

○議長（高橋正博君）

三枝町長。

○町長（三枝邦彦君）

両方です。よろしく申し上げます。

○議長（高橋正博君）

6番 岡本経治君。

○6番（岡本経治君）

両方いうんは、よう分からないんですけど。町長このような言葉があるんです。「過ちて改めざる是を過ちと謂う」という言葉があるんです。ファジーが大事なときもあります。だけど、非は非として認めて、申し訳なかったということをはっきりと言えば、町民は分かってくれると思うんです。その町民の感情を逆なでしないような施策に今後、取り組んでいてもらいたいと思いますのでよろしく申し上げます。以上で、質問終わります。